

2026 年 7 月 17 日

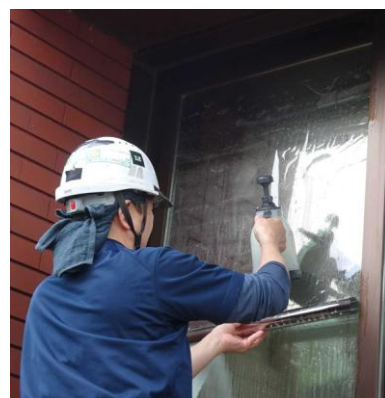
出光エナジーソリューションズ株式会社

News Release

出光エナジーソリューションズ

放射冷却素材「Radi-Cool（ラディクール）」を北海道和寒町役場庁舎に導入 ～ゼロエネルギーで暑熱対策と脱炭素化を両立～

出光エナジーソリューションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：久野村 務、以下「出光エナジーソリューションズ」）、ラディクールジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：何 軍、以下「ラディクールジャパン」）は、北海道和寒町（北海道上川郡、町長：中原 浩一、以下「和寒町」）の役場庁舎 1 階窓ガラスに、放射冷却素材「Radi-Cool（ラディクール）」フィルムを施工しました。



写真左：和寒町役場庁舎 写真右：放射冷却素材「Radi-Cool」フィルム施工の様子

■和寒町の持続可能なまちづくりを支援

近年、地球温暖化の影響による気温上昇が進み、北海道においても夏季の暑熱対策が重要な課題となっています。公共施設では、快適な執務環境や来庁者の利便性を確保するため、冷房設備の導入が検討される一方で、多額の設備投資やエネルギー消費の増加への対応に加え、脱炭素化との両立が求められています。

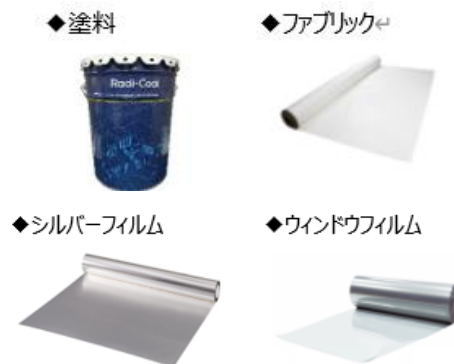
和寒町では、持続可能な地域づくりの推進に向けて、地球温暖化対策や省エネルギーの取り組みを進めており、その一環として町役場庁舎の窓ガラスに放射冷却素材「Radi-Cool（ラディクール）」フィルムを施工しました。

「Radi-Cool（ラディクール）」は、太陽光による熱の侵入を抑制するとともに、放射冷却効果によって建物表面温度の上昇を低減する放射冷却素材です。追加のエネルギーを消費することなく、建物の省エネルギー化と快適な室内環境の実現に貢献します。

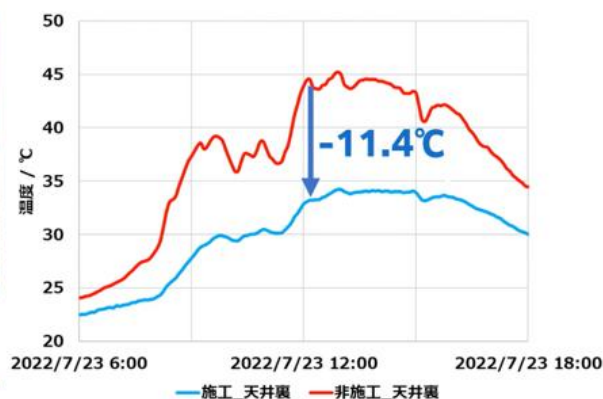
出光エナジーソリューションズは、ラディクールジャパンの販売代理店として、「Radi-Cool（ラディクール）」の提供を通じて、和寒町が目指す環境に配慮した持続可能なまちづくりを支援しています。本取り組みが、公共施設における省エネルギー化および脱炭素化の推進に寄与するとともに、地域の持続可能な発展につながることを期待しています。

■放射冷却素材「Radi-Cool（ラディクール）」について

放射冷却素材「Radi-Cool（ラディクール）」は2017年に米・コロラド大学ボルダー校の研究チームにより、世界トップの科学誌「サイエンス」で発表したことで生まれました。日射を高い割合で反射する既存の技術と、高い放熱技術を複合することにより製品表面への蓄熱を防ぎ、なおかつ裏面の熱も吸収、放射を可能とすることで、空調負荷の低減による省エネルギー化や快適な室内環境づくりに貢献します。



■検証データ（塗料の冷却効果）



日産サービスセンター（株）九州支社の屋根に塗料施工した試験データ（日産自動車総合研究所による測定）

【本件に関するお問い合わせ】 ※和寒町へのお問い合わせは、業務を妨げる可能性がありますのでご遠慮ください

出光エネルギーソリューションズ株式会社 ソリューション事業部 事業推進課

東京都千代田区神田練堀町3番地 AKSビル7階

お問い合わせ：弊社ソリューション情報サイト「[お問い合わせ](#)」フォームよりお願いいたします

🔍 出光 ラディクール

検索

